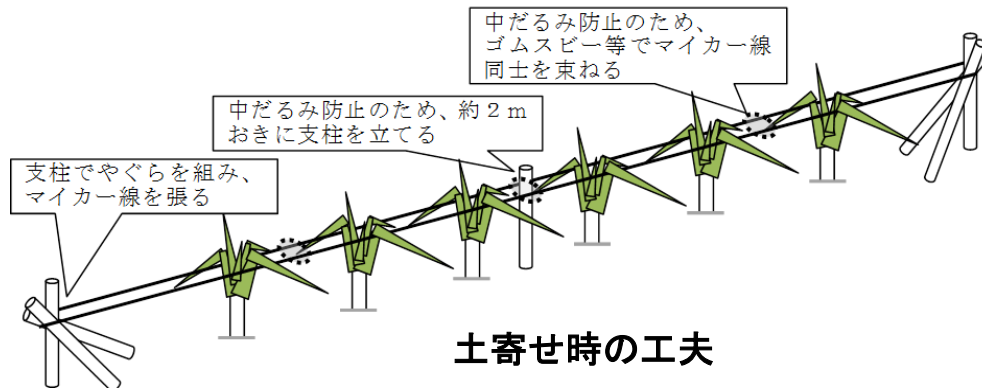


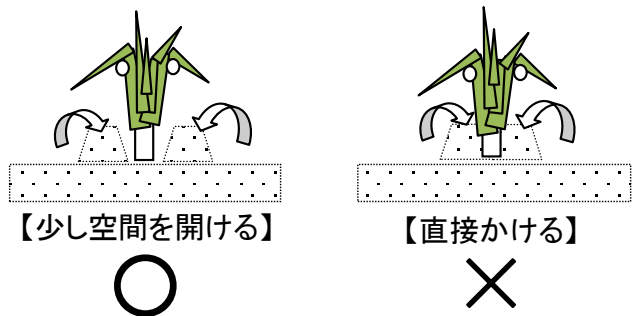
リーキ葉鞘部への土の侵入を 少なくする土寄せ方法



収穫されたリーキ
(別名:西洋ネギ、ポロネギ)



土寄せ時の工夫



土を寄せる位置

開発のねらい

リーキは白ねぎと違い、土寄せ時に葉の間から葉鞘部へ土が入りやすく、葉鞘部への土の侵入があるとクレームの対象になります。このため、現地では鍬などを用いて手作業で土を寄せていますが、手間がかかります。そこで、「管理機の使用」を前提として「葉鞘部に土が侵入しにくい土寄せ方法」を明らかにしました。

新技術の概要

- ネギ用管理機を用いたリーキの土寄せでは、土寄せ作業時に葉身部をマイカー線で持ち上げることで葉鞘部への土の侵入を防ぐことができます。
- 土が葉鞘内に入るのを防ぐために、土を寄せる位置は、リーキと寄せた土との間に空間ができるようにします。
- 土寄せ時の土の侵入を防止するために、管理機のロータリーカバーの上から肥料袋等をかぶせ、カバーの隙間から土が漏れて飛ばないように注意します。

活用場面

リーキの栽培は日本ではほとんど行われておらず、産地も少ないため、多くを輸入に頼っています。このため、本技術を用いて品質の高いリーキを生産することで、県内で栽培が広まりつつあるリーキのブランド化に役立ちます。